

CHUGOKU
中国

情報提供は支所または中央会まで

中国四国支所

〒730-0015
広島市中区橋本町7-14 橋本町BLD 2階
☎082(511)8231
ファクス 082(211)2181
メール chushi-h@agrinews.co.jp
鳥取県中央会 ☎0857(21)2610
島根中央会 ☎0852(31)3516
岡山中央会 ☎086(232)2358
広島中央会 ☎082(243)6245
山口中央会 ☎083(973)2224

梨農家大助かり

猫の手援農隊が収穫に汗

J A 鳥取中央で
管内

【鳥取・中央】特産の梨「二十世紀」の収穫ピークに合わせ、援農ボランティア「猫の手援農隊」が10日、JA鳥取中央管内で収穫に汗を流した。隊員は首都・関西圏に住む有志13人で、3カ所の園地で作業に当たった。11日には湯梨浜町の東郷梨選果場、倉吉市にある鳥取二十世紀梨記念館「なしっこ館」などを視察する予定だ。

猫の手援農隊は、全国一いる。援農に関心のある「借りたい農繁期の産地に農協観光協会が主催して」消費者を募り、猫の手も送り込む企画だ。同協会



笑顔で梨を収穫する援農隊の隊員(10日、鳥取県倉吉市で)

が産地JAと連携し、隊員と生産者を橋渡ししている。

この日、倉吉市の園地には6人が訪れ、「二十世紀」の収穫を支援した。隊員は梨の大きさを確かめながら「玉ずつ丁寧に」ときとって籠に詰め

ていた。昨年も援農隊に参加した埼玉県在住の小林茜さん(26)は「梨が大好きで、鳥取の二十世紀を毎年取り寄せている。木が低いので収穫作業は大変だけど、来年もまた参加したい」と笑顔を見せた。

園主の西谷美智雄さん(65)は「ふだんは2人で収穫している。人手が足りないため、援農隊のみんなに手伝ってもらえ、大助かりだ」と感謝している。

生産振興ブドウ PRへ試食宣伝

JA岡山と岡山農業普及指導センター

【岡山・岡山】JA岡山

特産や加工品ずらり

山口市できらら 物産・交流フェア 東北応援コーナーも



わたったJA山口県青協ブース

「などで「よい食プロジェクト」をPRした。JA山口県青協のブースには、JA福島県青年連盟の遠藤友彦委員長らが駆け付け、山口産とともに、トマトや梨など福島の旬をアピールした。来場した30代の女性は



「ほ」くつきりと浮かび上がる絶景の「トラちゃん田」